



# ユニフォームは病院の顔。誇りを持って着てほしい。

1974年の創立以来、第一次医療機関として豊田市周辺地域の周産期医療を担っている鈴木病院。年間2000件以上という愛知県下最大の分娩数を誇る産婦人科専門病院であり、また内視鏡手術の指導病院でもある同院に、総選挙で選ばれた新しいユニフォームについて、看護部長の朝岡さんにお話を伺いました。



## センターに輝いた1着とは!?!「ユニフォーム総選挙」

どのようなきっかけで、このユニフォームを採用されたのでしょうか?

以前は購入したユニフォームをストックしてまわしていたのですが、くたびれたものが多く、リースに切り替えました。今回はリースになってから2回目のリニューアルです。一部の人間が決めたものを支給するのではなく、働く人が自分で決めることがモチベーションを高めるには大切だと考え、ユニフォーム総選挙を行いました。

総選挙とは、アイドルグループのようですね! 選考はどのように行われたのですか?

カタログから1回目の選挙で10着に絞り、その10着を試着して2~3着に絞り込み、最後に1着を決めるという3段階の選挙を行いました。どうしても着たいユニフォームがあるスタッフは、これに入れてね!と働きかけたり、どれに投票するかで休み時間に盛り上がっていましたよ。

投票で1位に選ばれたのが、いまお召しになっているユニフォームですね。

評価が高かったのは、ありそうでない斬新なデザインですね。色も上品なパステルで、この病院の内装によく合います。忙しい中で着替えをするので、前が開閉になるのはとても便利です。体のラインもきれいに出て、後ろのデザインや着丈も良いということで、みんな選んだようです。最初はデザインが目が行きますが、これは実際に動いても非常に快適。トータルに優れていて、ほとんどのスタッフがこれに投票しました。

実際に着用してお仕事をされる中で、みなさんの反応はいかがですか?

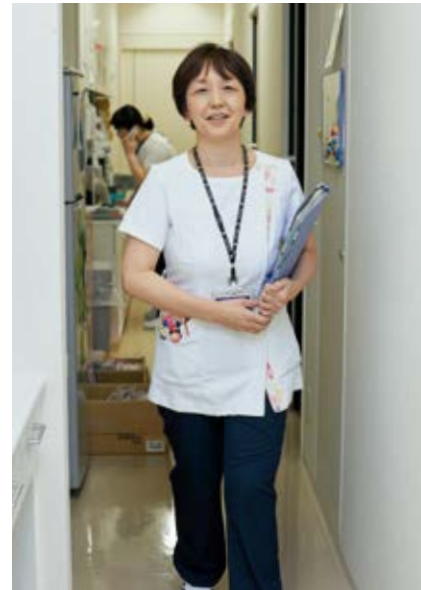
スタッフは自分たちで選んだものですから、誇りを持って着てくれると思います。私からも、これを鈴木の看板として着るわけですから、鈴木の見守りという責任を持って提供して欲しいと伝えていきます。私たちが総選挙でユニフォームを選んだのを見て、事務やコメディカルのスタッフたちも、自分たちで着たいものを選ぶという機運が高まっています。

患者さんからは、何かお声掛けなどはありましたか?

当院の外来の患者さんは若い方が多いのですが、みなさん「素敵ですね!」「色違いなんですか?」と声をかけてくださって、会話のきっかけになっています。ドラマに同じユニフォームが登場したので、反響も大きかったですね。実習やインターンシップの学生さんからの評判もすごく良いですよ。

先ほど「鈴木の見守り」という言葉がありましたが、医療の実践において、大切にされていることはなんですか?

私たちは地域の安全な分娩と、安心な子育てを支えているのが誇り



## 妊娠・出産だけでなく、女性の一生に寄り添う医療を。

です。そのために総勢200名のスタッフが、全力を尽くしています。特に最近、産後のお母さんが育児をしにくい環境にありますよね。これまで産後1ヶ月までのサポートをしていましたが、お母さんたちが本当に大変なのはその後。ですから1階に「母と子のふれあい広場」という、赤ちゃんを遊ばせながら育児相談もできる場所を作りました。

出産だけでなく、出産後の子育てのサポートもされているんですね。

そうですね。分娩を扱うのも大切な役割ですが、これからは周産期だけでなく、妊娠前からのプレコンセプション外来や更年期のサポートなど、女性の一生とトータルに寄り添う医療を提供することを目指しています。女性が自分の体のことをきちんと知って、上手に付き合っていけるお手伝いができたら。妊娠・出産の前後を支えることで、女性が楽しく幸せな生活を送れるサポートができるのでは、と考えています。当院が数多く手がけている内視鏡手術も、体への負担が少なく傷も小さいので、女性の患者さんにとって非常にメリットは大きいですね。

こちらの病院が地域で担う役割は、非常に大きいですね。

地域医療を支えるのはもちろんですが、後輩の育成にも力を入れています。看護専門学校や大学の実習施設であり、後期研修医の受け入れや内視鏡手術の指導病院でもありますので、他院の医師の研修も受け入れています。また、毎年、5~10名の新人看護師・助産師を採用し、新人教育研修を推進しています。女性医師、看護師・助産師が仕事を続けられるように働きやすい職場をめざし、院内保育室の利用や日勤だけの勤務等の体制を整えることで、現在7名の女性医師が活躍しています。今回のユニフォームもそうですが、働く人が快適であることも大切にしながら、これからの医療の担い手を育てていけたらと考えています。

医療の現場で働く方のモチベーションアップに、少しでもユニフォームがお役に立てて幸いです。今回は激しい総選挙を勝ち抜いての1位、私たちも非常に誇りに思います。